

# JAいけだ CREATION

今月号の表紙写真は、2014年12月1日（月）～4日（木）に行われた、女性部道外研修旅行で宮島の厳島神社を訪れた際に撮影した集合写真です。詳細は7ページをご覧ください。



## CONTENTS

- \* 平成27年の新春を迎え
- \* 平成27年の年頭にあたり
- \* 平成26年産豆類生産状況
- \* 十勝地区女性協議会研修会
- \* 女性部道外研修旅行
- \* 第39回青年部十勝大会

2015.

JANUARY  
No.061

- \* 21NEWSアラカルト
- \* シリーズ  
協同組合と報徳 No.4
- \* 営農計画書  
提出期限について
- \* 金融共済課より
- \* 畜産部通信
- \* 未来人
- \* 農家の嫁さん
- \* 今月の1枚
- \* 理事会の動き
- \* 編集後記



# 平成27年の新春を迎え

十勝池田町農業協同組合

代表理事組合長 鈴木雅博

平成27年の新年を迎える組合員の皆様はじめご家族の皆さんに謹んで新春のお喜びを申し上げます。また、口頭より農協事業にご理解とご協力を頂き深くお礼申し上げます。

平成26年は降雪量が少なく、3月下旬の平均気温も高く、春先から好天に恵まれ播種・植え付け作業は順調にすすみ、生育時期には雨不足による心配もありましたが、各作物とも順調に推移した年であります。小麦につきましては、売り渡しが全量1等Aランクとなり、質量的にも管内トップクラスとなりました。菜豆類は収穫時期の降雨により一部色流れが発生しましたが、豆類の収量は平年を大きく上回り、その他作物とも高収量の収穫年ありました。

畜産部門では、素牛・肥育牛とも価格が引き続き高値で推移しており、さらに共進会においても高い評価を戴いております。酪農部門では乳価値上げもありましたが、一昨年の猛暑により分娩間隔が空き、生乳出荷量に影響がありました。秋以降は乳量も回復し安定した廻であります。このような中、畑作・畜産合わせたJA十勝池田町農業生産額は過去最高となりました。

生産資材や家畜飼料の高騰、せたJA十勝池田町農業生産額は過去最高となりました。このように、生産者も巻き込んだ団体や消費者も巻き込んだ国益をもむる活動が必要であります。農村選出の国会議員には「国会決議」を守り、さらに地域農業を発展させる農政に全力をあげてもらいたい事に期待をしたいと思います。

さて昨年の師走には、「大義なき解散」などと言われた衆議院選挙が行われ、消費増税やTPP・農業団体の改革など大きな問題も越年となりました。

JA十勝池田町農業協同組合は設立されました。しかし、組織力の弱さに加え厳しい時代背景のなか、経済事情により昭和25年度の決算期をもつてわずか3カ年で分離独立し、それぞれ単独農協としての道を歩む事となりました。

い急激な生産環境の変化を受ける時代であり、その変化に迅速な対応を求められていますのが農協組織であります。

その様な環境の中、昨年の通常総会において承認頂きました

JA十勝高島との二農協合併問題は、「合併検討委員会」を設立し地域農業の現状と課題を抽出し「池田町農業、将来のあるべき姿」を描く作業を進め、それを懇談会にお

いて説明し、意見をいたしました。そして本年の農業以外の各分野でも合意になりました。いよいよ今年は大詰めの年となりそうです。全国の農業者が一丸となり、関係団体や消費者も巻き込んだ国益をもむる活動が必要であります。農村選出の国会議員には「国会決議」を守り、さらには「国会決議」を守り、さらに地域農業を発展させる農政に全力をあげてもらいたい事に期待をしたいと思います。

JA十勝池田町農業協同組合は設立されました。しかし、組織力の弱さに加え厳しい時代背景のなか、経済事情により昭和25年度の決算期をもつてわずか3カ年で分離独立し、それぞれ単独農協としての道を歩む事となりました。

JA十勝池田町農業協同組合は設立されました。しかし、組織力の弱さに加え厳しい時代背景のなか、経済事情により昭和25年度の決算期をもつてわずか3カ年で分離独立し、それぞれ単独農協としての道を歩む事となりました。





# 平成27年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔 章

組合員並びにJA役職員の皆様方には、「ご健勝にて輝かしい新年を迎えたものと心よりお慶び申し上げます。さて、昨年の北海道農業は、地域差・個人差があるものの、おおむね順調な作柄となりました。皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なる力をされていぬ」とに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

平成26年は午年（うまじ）でありましたが、農業・JAをとりまく個々の情勢変化に加え、年末には、衆議院議員選挙が実施されるなど、まさに激動の一年でした。かかる情勢の中、我が国の農業はじめ国民生活のさまざまな面に大きな影響を及ぼしかねないよう、今後とも政府・

ITP交渉に関しては、関係国の首脳・閣僚・交渉官等による各種会合並びに交渉が継続的に行われています。

昨年の11月10日に行われた関係国の首脳会合では、結果として大筋合意には至らず合意の目標時期も明示されませんでしたが、協定の早期妥結に向けて取組みをさらに進めています。我が国で賄うべきは可能な限り自國で賄うべき間わっています。自國の食料組織に自己改革を求める内容で組織討議を実施し、その後、JAグループ北海道として全道の組合員に参加いただいたうえで「意見・「JJA希望をもとに、JAの多様な価値観に応える北海道農業」・「時代に即した協同組合への改革」を柱とした「JAグループ北海道改革プラン（実行計画指針）」をとりまとめました。

国会決議の順守とともに我が国の将来に禍根を残すことなくしてまいりたいと存じます。

一方、政府は規制改革会議における答申を踏まえ、平成26年6月に「規制改革実施計画」を閣議決定し、農協系統組織に自己改革を求める内容を示しました。その後、JAグループ北海道として全道の組合員に参加いただいたうえで組織討議を実施し、頂いた

一方、政府は規制改革会議における答申を踏まえ、平成26年6月に「規制改革実施計画」を閣議決定し、農協系統組織に自己改革を求める内容を示しました。その後、JA

世界規模での異常気象の発生、人口増加、新興国の経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は不安定な要因を抱えており、先を見据えた中で、食料の安全保障をいかに確立していくかが問われています。自國の食料は可能な限り自國で賄うべきは、国家が存立していくうえで必要不可欠な取組みであります。我が国の農業の位置づけ・役割を再認識したうえで農業の持続的発展をはかつてあります。我が国としての基本姿勢のもとで、必要な政策展開なり関係者の自助努力を精力的に進めていくことが重要であります。

世界規模での異常気象の発生、人口増加、新興国の経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は不安定な要因を抱えており、先を見据えた中で、食料の安全保障をいかに確立していくかが問われています。自國の食料は可能な限り自國で賄うべきは、国家が存立していくうえで必要不可欠な取組みであります。我が国の農業の位置づけ・役割を再認識したうえで農業の持続的発展をはかつてあります。我が国としての基本姿勢のもとで、必要な政策展開なり関係者の自助努力を精力的に進めていくことが重要であります。

併せて、いまや農業は国民の理解と協力なくしては成り立たない産業であり、農業・JAの実態や取組み、農業・農村の多様な魅力を発信し、国民各層の理解醸成につなげていくことが肝要であります。ややもすると、経済合理主義ながら、改革プランにもとづく事業展開を積極的に推進してまいりたいと存じます。

世界規模での異常気象の発生、人口増加、新興国の経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は不安定な要因を抱えており、先を見据えた中で、食料の安全保障をいかに確立していくかが問われています。自國の食料は可能な限り自國で賄うべきは、国家が存立していくうえで必要不可欠な取組みであります。我が国の農業の位置づけ・役割を再認識したうえで農業の持続的発展をはかつてあります。我が国としての基本姿勢のもとで、必要な政策展開なり関係者の自助努力を精力的に進めていくことが重要であります。

# 平成26年産豆類生産状況

## 生育状況

表1 平成26年度池田町作況ほの生育経過  
(上段26年、下段平年)

作物	出芽始	出芽期	開花始	開花期	成熟期
大豆	5/30	6/01	7/19	7/21	10/04
	5/30	6/02	7/22	7/24	10/06
小豆	6/01	6/03	7/23	7/26	9/13
	6/04	6/06	7/27	7/30	9/17
金時	6/05	6/07	7/13	7/16	9/03
	6/08	6/10	7/12	7/13	9/04
手亡	6/03	6/05	7/20	7/22	9/12
	6/07	6/09	7/23	7/25	9/15

平成26年産は播種時期の天候、圃場条件にも恵まれ、各品種とも順調に作業が進みました。しかし、播種後約5月下旬から6月上旬は降雨が少なく干ばつ傾向となつたことから、初期生育がやや停滞致しました。6月には長期間の降雨が続きましたが、気温は高かつたため順調な生育となり、7月の開花期は金時を除いて平

表2 平成26年度池田町作況ほの茎長(cm)及び着莢数(個数/m<sup>2</sup>)  
(上段26年、下段平年)

茎長	6月15日	7月1日	7月15日	8月1日	8月15日	着莢数	8月15日	9月1日	9月15日
大豆	7.7	18.9	37.2	62.3	66.8	大豆	426.2	538.3	538.3
	6.7	15.0	34.8	62.2	74.2		360.2	489.6	497.4
小豆	2.7	5.7	11.7	29.9	42.3	小豆	148.1	312.3	312.3
	2.8	4.7	10.8	23.7	41.6		100.0	262.4	286.5
金時	5.3	13.0	35.0	47.8	53.9	金時	136.6	164.0	164.0
	5.4	12.3	33.6	48.9	49.9		140.3	125.2	124.1
手亡	4.4	9.5	35.0	47.0	48.8	手亡	193.8	298.1	298.1
	4.2	7.8	30.7	46.9	50.3		178.1	180.7	191.6

表3 金時規格毎発生比率  
(上段26年、下段23~25年平均)

区分	2格	TK (軽色流)	TN (色流)	発芽粒など
大正金時	63.4%	21.0%	12.4%	3.2%
	21.6%	33.4%	36.5%	8.5%
福勝金時	41.5%	30.5%	18.8%	9.2%
	31.7%	27.8%	25.6%	14.9%

平成26年産の豆類生産について生育状況や地区毎の実績をお知らせ致します。

年よりも3~4日早まりました。

開花期以降に菌核病、灰色かび病の発生が平年よりも多く発生しましたが、適正防除により影響は最小限に留めることができました。また草丈

がやや高めの生育のため、8月中旬の降雨により規模の差はあります、多くの圃場で倒伏が発生しました。

ここ数年連続している菜豆の収穫時の降雨による品質の低下は、手亡への影響は少なかつたものの、赤系

豆(エリモ小豆)5・0俵/10a、金時(大正金時)3・7俵/10a、大手亡(編てぼう)5・2俵/10a、普通豆4・8俵/10aとそれぞれ平年を上回る実績となりました。収穫時期の天候に悩まされた状況ではありました。が、農協への集荷は皆様のご協力により43千俵余りとなりましたことお礼申し上げます。誠にありがとうございました。本年の金時の買入は等外品では昨年と同様に規格発生比率に応じた特例の買入方法とさせて頂きましたが、今後も生産者の皆様の所得の向上を目指し、有利販売に努めることはもとより、定生産に繋がるための契約栽培の大に向けて取組んで参りますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 地区別生産状況

金時で軽微の色流れが発生しました。小豆は平年を上回る莢付まで高収量となりましたが、品質面では色が浅い粒が多く、ややバラツキの目立つ傾向にありました。大豆は収穫時期の降雨により作業遅れが懸念されましたが、適期作業に努めて頂き、品質低下を最小限に留めることができます。

ました。

表4 平成26年産 地区別豆類反収

(俵／10a)

品目 地区名	大正 金時	福勝 金時	エリモ 小豆	きたの とめ小豆	きたろまん 小豆	白小豆	大納言 小豆	絹手亡	姫手亡	福白 金時	光黒 大豆	普通 大豆
清見 1	2.9	3.2	5.2	4.9	4.4			3.7	5.2	3.4		
清見 2	4.1	3.7	4.9	5.3				4.3	4.7		5.6	
昭栄南	3.9	3.5	5.1	4.9	4.8							
昭栄	3.0		5.2	5.0				4.1				
昭栄北	2.2	4.6	5.3	5.1						3.6	3.6	
東台 1	3.4	3.1	5.3	4.3			4.9	4.7				4.2
東台三愛		4.0	5.5								4.8	
東台幹線	3.0	2.7	4.5	4.4			4.2	4.9			4.9	
川合 2	3.9	4.8	5.3			6.3		5.4	6.0	4.5		
様舞	3.6		4.5									4.0
池田地区計	3.3	3.7	5.1	4.8	4.6	6.3	4.6	4.5	5.3	3.8	4.7	4.1
利別	3.7	3.9	4.9	5.0			5.1			3.8	5.2	
川合	5.3	3.4		5.6			5.5	7.3	6.3			
千代田東	3.6	4.4	5.1	4.8			5.1	6.4		4.1		
千代田南	3.6	4.1	4.9					5.2				
千代田北			4.9	3.9			4.9					5.1
豊田 1	4.3	3.9	4.8		4.0	4.5	5.0	4.1		4.5	5.8	5.7
豊田 2		4.1	4.9					5.8				
青山		4.2	5.2		5.2	4.9	5.1	5.9		3.2	5.3	
利別地区計	4.1	4.0	5.0	4.8	4.6	4.7	5.1	5.8	6.3	3.9	5.4	5.4
合計	3.7	3.9	5.0	4.8	4.6	5.5	5.1	5.2	5.8	3.9	5.1	4.8
最高	5.3	4.8	5.5	5.6	5.2	6.3	5.5	7.3	6.3	4.5	5.8	5.7
最低	2.2	2.7	4.5	3.9	4.0	4.5	4.2	3.7	4.7	3.2	3.6	4.0

※廃耕となった圃場の面積も含んで計算しています

表5 道産豆類需給見込

※ホクレンの推算による

品目	26年産		27年産				
	次期繰越	在庫量	商品化量(推定)	期首	年間消費	次期繰越量	在庫量
大納言小豆	55,700俵	8.4ヶ月	97,700俵	153,400俵	79,200俵	74,200俵	11.2ヶ月
小豆	636,200俵	8.8ヶ月	1,007,200俵	1,643,400俵	865,700俵	777,700俵	10.8ヶ月
大手亡	49,200俵	6.2ヶ月	102,200俵	151,400俵	94,700俵	56,700俵	7.2ヶ月
金時類	93,500俵	6.7ヶ月	171,200俵	264,700俵	167,500俵	97,200俵	7.0ヶ月
光黒大豆	101,800俵	11.0ヶ月	86,900俵	188,700俵	111,400俵	77,300俵	8.3ヶ月

◇ 小豆…2年続けて指標を上回る作付と3年連続の平年を上回る収量で在庫が大きく増える状況となつております。小豆全体の消費は前年を下回る等、本格的な需要回復とはなつていません。また、きたろまんは製餉適正が決して高くないことから、ユーバーはエリモ小豆からきたろまんへの切替に不安を抱えております。実需の望む品種を安定供給することで、需要の確保、拡大を図る必要があります。

◇ 大納言小豆…在庫量が大きく増加しているため、作付面積の抑制による供給量の調整が必要と見込まれます。ユーバーが使用を切り替えており、荷動きが非常に悪い状態が今後も続くと予想されています。

◇ 手亡…製品供給量が不足している状況が続いています。国産の減少は輸入の増加に繋がる恐れがあります。指標を大きく下回る状況が続いており、面積の増加による安定供給体制の構築が急務となっています。

◇ 金時…煮豆メーカーの縮小により消費が伸びていない状況ですが、小袋用、煮豆用途向けの上位規格品が少なく、手亡同様、27年産での面積増加による安定供給体制と安定価格の構築が急務となっています。

◇ 光黒大豆…ここ数年の指標を超える作付面積から、本年は大きく作付が減少しましたが、依然として在庫量は高い水準にあります。輸入品からの切替等、消費量の増加に向けた対策が必要です。

## 雑豆の需給状況

## 女性部

# 組織体験活動発表で最優秀賞に輝く

## ～十勝地区女性協議会研修会～

12月17日（水）～18日

員が全員欠席のなかの研修会となりました。

今回の研修会では、4年に一度行う組織体験活動発表があり、当番のJA十勝役と支部長の11名の参加で、十勝地区女性協議会研修会が開催されました。

当日は、数年に一度の爆弾低気圧による大雪の影響により、開始時間の変更や講師が札幌から来られない

ために講演の中止、またJA鹿追とJA新得町の女性部が開催されました。



最優秀賞を受賞した中西部長

A足寄・JA新得町（※欠席のため発表は無し）が発表しました。発表は、パワーポイントを使用し10分という時間制限の中で行われ、地域や農協の特徴・女性部活動の実態や農協との関係性が審査の基準となります。

当女性部は部長の中西邦江さんが発表し、翌日に行われた審査発表で最優秀賞に輝きました。



野菜ソムリエ・吉川氏の講演

講演では、野菜ソムリエになつたきつかけや一人で食事をする孤食について・

夕方のスーパーで買い物する人たちが、野菜コーナーより惣菜コーナーに多いなど、現在の食文化についてのお話や、野菜もそれぞれの色で成分が異なるので、野菜を食べるにも「同じ色」の野菜だけではなく、5色の色とりどりの野

菜を食べる」ことが大切だと講演されました。また、懇親会と朝食時には、吉川氏

会社エムズプランニング代表取締役の吉川雅子氏による講演が行われました。

18日の講演では、中央会帶広支所・植田尚典支所長による「最近時の農業・農協を取り巻く情勢について」と題し、「自身の体験を交えながら女性部員に分かりやすく、中央会やホクレンの仕事内容やTPPによる関税撤廃の影響、そして女性部活動において女性部員1人ひとりが自ら主人公になり、活動していく事が大切と話され研修会は終りました。



懇親会時に行われた、じゃがいもの品種当てクイズ

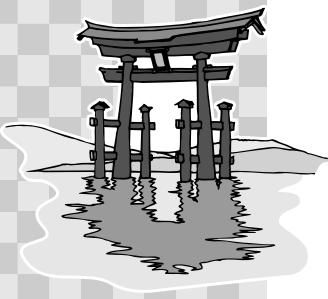
また、組織活動体験発表で最優秀賞に輝いた、中西さんは平成27年4月に札幌で開催される「JA北海道女性部幹部研修会」で、十勝地区的代表者として発表する事となります。

研修会に参加された三役・支部長のみなさん、大変お疲れ様でした。

（記事・営農部営農課 遠藤由梨）

女性部

# 道外研修旅行 ～広島・山口～



12月1日（月）～4日（木）の3泊4日で、広島・山口方面へ部員17名の参加のもと女性部道外研修旅行を実施しました。

今回は、マンチエスター・コナイトツドFCこと栄養補助食品パートナーとしてスponサー契約をしている、広島県因島の万田発酵株式会社を1日に視察しました。



山口県では秋吉台・秋芳洞を訪れ、秋芳洞の中は四季を通じて気温が17度で冬は暖かく感

12月1日（月）～4日（木）の3泊4日で、広島・山口方面へ部員17名の参加のもと女性部道外研修旅行を実施しました。

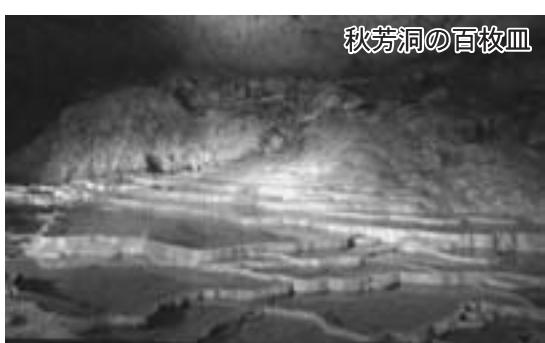
万田酵素を使用した大根や農作物の根を、たくさんや農作物の根を、たくさんあります。それが特徴がある・実をたくさん実らせる事が可能との事です。

有名な「もみじまんじゅう」ではなく、「もみじまんじゅう」を揚げた「揚げもみじまんじゅう」を参加者で頂きました。

（記事・営農部営農課 遠藤由梨）



万田発酵様での観察



秋芳洞の百枚皿

原材料53種類以上から出来ており、果物は皮や種を丸ごと使用し、3年3ヶ月以上かけて発酵・熟成させてつくる「植物発酵食品」です。

視察では、生産工程と農園の見学、万田酵素を使って育てたトマトや大根などの試食を行いました。植物や作物などに万田酵素を使用すると、それぞれの特性はありますが、大きく育てる・実をたくさん実らせる事が可能との事です。

2日目以降は宮島の厳島神社内の見学と歴史を学び、張り巡らせるために間引きが重要との事でした。

終日には雨にも当たつてしましましたが、大変有意義な研修旅行となりました。参加された、部員の皆さん大変お疲れ様でした。

じられ、洞窟の中を1時間かけて歩き鍾乳石を観察しました。その他には山口の錦帯橋での散策と、藍染や紙しき・竹細工の作品体験を行い、それぞれ旅行の思い出に作品作りを楽しみました。

旅行中は天候が悪く、最

# 青年部

# 第39回青年部十勝大会

部員28名参加のもと、第39回十勝青年部大会が本年は会場をホテル日航ノースランドへと変更し、総勢700名以上になる盟友の参加で11月21日に盛大に開催されました。

開会式に続き、主張発表

が6青年部により行われ、

音更は、農地を継承する意

味、札内は海外農業研修で

学んだフランスの農業土地

集団制度を交えて経営者と

しての決意、中札内村は道

外大学生活で実感した地元

十勝での農業のやりがい、

木野は作物研究者から就農

し再発信したい十勝の安定

主張発表を行う武智さん



食料供給価値、最優秀賞の大正是、自家産野菜の飲食店経営で得た栽培と提供の喜び、を発表していました。また当青年部の武智宣仁君が「これから自分」と題し、就農経緯から始まりGPS導入や麦なでなど新技術に挑戦し続けてきた父への尊敬、そして農業への熱意を訴えました。



純農boyオーディションに出席した多田さん(中央)

昼食後、食品スーパー福原会長が「変化する時代を生きるための経営論」を題目に、時代柄やゆされながらも設立を決意した持株会社の経緯、また印象に残つ



十勝和牛でアピール

た無借金経営主義、最後には時代に即した経営変化を行うことが農業経営にも必須なのでは、と力説されました。そして4分科会に分かれての講義が行われ、私が参加した経営部会では、閉会式前には、「1分間時間半にわたり学びました。C M」でトラクター模型を使ったコマ撮り風や、ポートハーベスター上で流れてきた特産物に次々とかぶりつくなど、各青年部が趣向を凝らして活動内容を二分間にまとめた映像を発表しました。



アームレスリング大会に出席した高橋さん(左)

懇親会では、純農boyオーディションに当青年部の多田将平君が出場し、背中に「十勝和牛」とあしらつた、つなぎ姿で自身をアピールし、アームレスリングには高橋直人君が出場しました。

約10時間に及ぶ長時間の日程での研修会でしたが、他青年部との交流や普段なかなか知ることのない他単組の活動を学べ、私はもちろん各部員にとって大変有意義な1日になつたと思います。

(記事・青年部員 十河孝行)



大会の様子

## 青年部

## 第63回 全道JA青年部大会

平成26年12月4～5日、札幌パークホテルにて開催された、第63回全道JA青年部大会に山内部長他青年部員5名が参加しました。

大会内容は初日に青年の主張、活動実績発表、分科会、懇親会でのアームレスリングに純農boyオーディション。2日目はスキージャンプ選手の船木和喜選手を迎えての記念講演、農村ホームステイ事例発表、1分間CMと充実した内容の大会でした。

分科会では「水稻直播栽培技術の現状と課題」「近年の天候とゲリラ豪雨！近い未来の天候はどうなるのか！」「放牧酪農の今と課題について」「これから食農教育のカタチ」「農業政策『農政』とはなんなのか」「農協のあり方と今後の農協について」という題材で行われ、それぞれ討議やグループディスカッションが行われました。

船木選手の記念講演では「メダリストの役割」という題目で、北海道ハイテクノロジー専門学校の常通道夫氏との対談形式で行われました。その中ではスキージャンプの競技人口が減っており、どうすれば競技人口を増やせるのか？引退した選手が再就職に悩んでいる！その為に自分に何ができるのか？を考え、その結果会社を立ち上げたそうです。その会社の事業で北海道産の食材で作った食品を作り、道外で行われる物産展等に持ち込み売り上げを上げていき、引退した選手の再雇用の場を作り収益の一部を選手育成に使っているそうです。また選手育成の為、専門学校への協力を惜しまず、北海道メディカル・スポーツ専門学校では副校長も務めているそうです。船木選手の考え方や行動、実行力等、大変勉強になる講演となりました。

本大会は毎年、札幌で行われているため出席できる部員数が少ないのが残念ですが、出席できた部員は貴重な講演や充実した分科会等、多くの事を学び経験する事ができたと思います。是非今後多くの部員が参加し、自分の今後に役立てて貰いたいと思います。  
(記事・青年部監事 中西洋一)

## 施設課

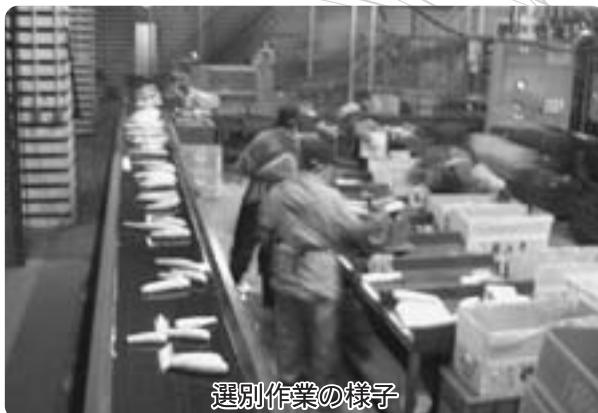
## 26年度産 ネバリスター選別開始!

11月11日より、H26年産ネバリスターの選別を開始致しました。

昨年と比べると入庫数量も340基ほど増加しており日々、ネバリスター選別に励んでいる最中です。

H25年度導入のブラシ式洗浄機も順調に稼動しており昨年と同様、自動乾物率測定機で乾物率・糖度の計測もしております。乾物率と糖度は前年産と比較致しますと、今年産は少し高めの結果がでており、(H26年産の平均値、乾物率で26.5%・糖度で8.1) ネバリスターの美味しい味・甘い味が大きく期待できると思います。

これから選別最盛期に向かっていきますが、選別に携わる皆と協力し、更に安全で明るい職場づくりに努めてまいります。また、ネバリスター生産者・生産者以外の組合員の方にも、是非足を運んでいただきネバリスターの選別を見学して頂きたいと思います。  
(記事・農産部施設課 佐藤尚弘)



選別作業の様子

## 管 理 課

## ～活力ある職場づくり～ 実践事例を報告

### JAつべつ「活力ある職場づくり プロジェクト構成員」が視察に訪れる

12月3日（水）に、JAつべつの活力ある職場づくりプロジェクトの構成員7名が、当JAを訪れました。

視察の目的は、当JAが実施している「事業評価制度（農協の通信簿）」及び「5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰の5つのS）」の実践事例について視察したいとのことでした。

5S活動については秋野課長が、事業評価制度については花本が報告させて頂きました。

5S活動では、整理、整頓などが共通の課題となっており、書類の管理等などの質疑が交わされました。

今後も、全道のJAと意見交換や連携を図り、共に「活力ある職場づくり」に取組んでまいりたいと考えております。

（記事・管理部長 花本 敦）



5S活動を報告する秋野課長（右）

## 黒牛部会

## 道外視察研修



十勝市場でも産子が好調な種雄牛「隆之国」との記念撮影

された理想的な市場でありました。また、市場名簿には新しい血統構成が目立ち繁殖牛改良と更新の早さを感じました。

種雄牛見学では県肉用牛改良研究所の「華春福」、(有)羽子田人工授精所の「隆之国」、(株)萩原人工授精所の「茂久桜」など、話題の種雄牛を間近で見学させていただき、大変貴重な経験となりました。

4日間、レンタカーでの長距離移動というハードな日程となりましたが、研修を通じ先進地の飼養管理、また和牛改良に対する熱意を感じることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

（記事・畜産部畜産課 米川 武）

# 協同組合と報徳

シリーズ

No.4

## 信用事業について

報徳から生まれた日本の協同組合は、信用事業から始まり相互扶助精神を育てきました。農協は総合的な事業を行っていますが、その事業の中でも信用事業に係る事業理念が協同組合精神の土台となっています。今月は、銀行の金融事業と協同組合の信用事業の違いについて紹介します。

## 銀行は

銀行等が行う金融事業とは、協同組合の信用事業は、その目的に大きな違いがあ

## 協同組合は

協同組合の信用事業（金

北海道報徳社  
報徳生活読本より

ります。銀行等（一般的には株式会社で営利企業です）は、集めた預金を貸付や債券の運用等によって利益を得ることが目的となってい

ます。もちろん預金者に利息を支払うとともに、貸付によつて企業等の資金需要に応えるなど、社会的な役割は大きく、金融事業が経済の血液とも言われる所以です。しかし、投資家（株主）への利益還元を最大の目的として事業展開をして

いる有利企業であることから、金融事業で得た利益は株主に配当されます。

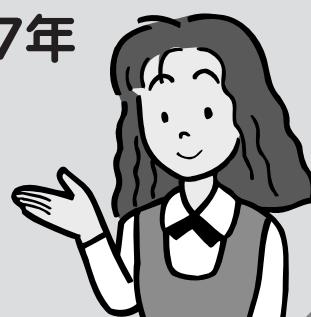
このように、銀行と協同組合では事業目的が根本的に違つており、信用事業は相互扶助精神に欠かせないものとなつてゐています。

## お知らせ

### 宮農計画書提出期限について

宮農計画書の提出期限は平成27年1月末となっております。

期日までに提出頂きますよう、よろしくお願ひ致します。



## 金融共済課より

ご存知ですか?

JAの



## 火災共済

火災以外の損害までワイドに保障!!  
あなたの大切な住まいと家財を守ります。

## JA共済の幅広い保障内容

## ●火災



## ●落雷



## ●破裂または爆発



## ●盗難によるき損・汚損

●建物外部からの  
物体の落下・衝突等●給排水設備に生じた事故、または、  
被共済者以外の者が占有する  
戸室で生じた事故に伴う漏水、  
放水またははいっ水による水ぬれ

<年間掛金例:臨時費用担保特約付・新価特約付> ※火災共済金額:1,000万円に加入したとき

	耐火造B・C(ブロック・石・レンガ造、 ヘルベライト等)	防火造(木造で外壁がモルタル、 サイディング張)、木造
住宅専用建物及び 収容家財等	<b>6,600円</b>	<b>13,200円</b>

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては「重要事項説明書(契約概要)」を必ず  
ご覧ください。

また、ご契約の際には「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「火災共済約款」を必ずご覧下さい。

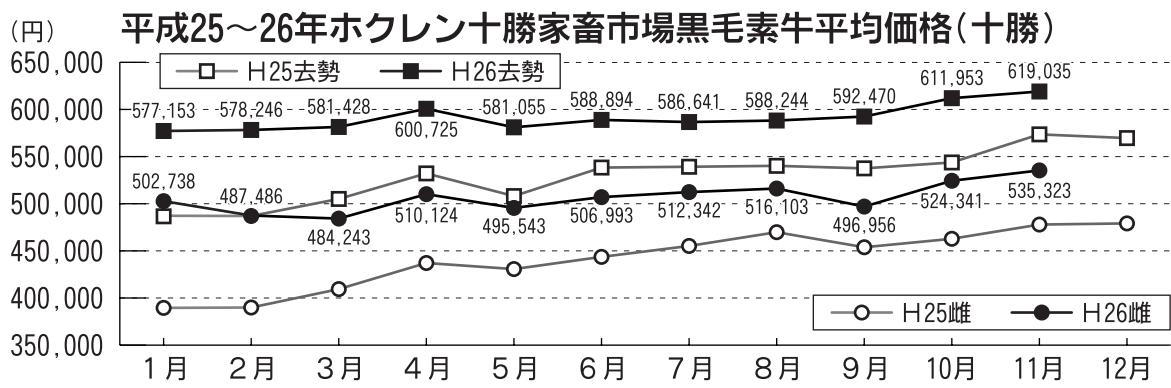
※このチラシの有効期限は平成27年3月31日までです。

**JAは地域の皆様にご利用いただけます。**

[14011741043]

# 畜産部通信

畜産部  
畜産課



## 11月黒毛素牛出荷区分別成績

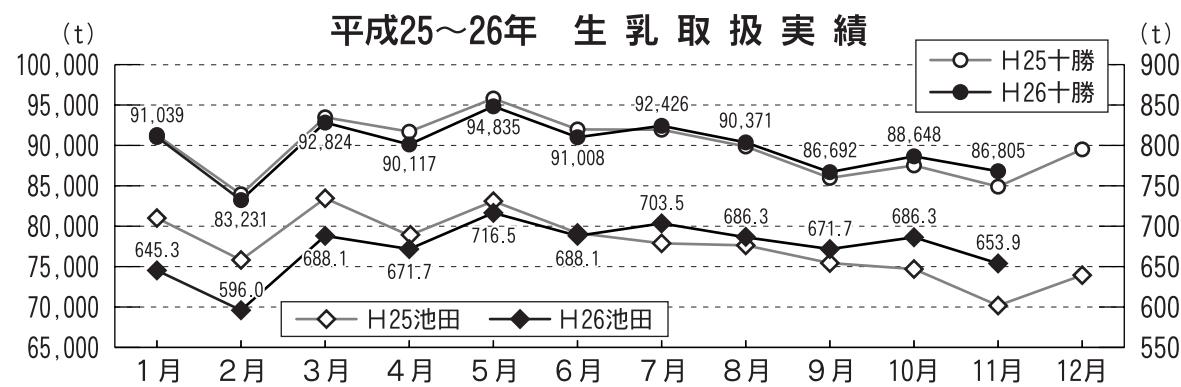
		取引頭数	平均価格(税込)	参加率・認定率
十 勝 勢	和牛素牛	675	619,035	
	マニュアル参加牛	423	627,493	62.7
	マニュアル認定牛	83	670,863	19.6
池田	和牛素牛	37	633,317	
	マニュアル参加牛	32	629,100	86.5
	マニュアル認定牛	7	675,926	21.9
十 勝 雌	和牛素牛	498	535,323	
	マニュアル参加牛	329	535,699	66.1
	マニュアル認定牛	30	570,600	9.1
	和牛素牛	28	521,254	
	マニュアル参加牛	25	526,003	89.3
	マニュアル認定牛	4	592,650	16.0

## 11月ホクレン十勝枝肉市場

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
8日 22日 29日	黒毛去勢	A-5	2,225
		A-4	2,039
		A-3	1,857
	黒毛メス	A-5	2,149
		A-4	2,003
		A-3	1,808
F1去勢	B-3	1,312	
	B-2	1,165	
	B-3	1,274	
	B-2	1,187	



## 平成25～26年 生乳取扱実績



## 11月ホクレン十勝乳牛市場

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
4日	乳牛育成	442	315,555
6日	乳牛初妊	449	536,782
	乳牛経産	50	403,121
26日	乳牛初妊	535	555,619
	乳牛経産	90	348,060

## 11月十勝中央家畜市場

区分	平均価格(税込)
乳牛オス初生	36,838
F1オス初生	155,652
F1メス初生	99,596
廃用牛	176,593



**青山地区**  
むらなかよしとも  
**村中善共さん**  
(33歳)

Vol.7

# 未来人

Mirai Bito

## プロフィール

家族は善共さん、父・善一郎さん、母・幸恵さんの3人家族で畠作を営む。

池田高校から札幌の福祉系の専門学校に進学し卒業後、札幌で数年働いたのち就農。今年で就農5年目。

今年度から当JA青年部の監事を務める。

**旅**  
行に行く事が好き。と  
話してくれたのは、青  
年部の監事を務める村中善  
共さん。

池田高校を卒業後、福祉  
系の専門学校に通い介護福  
祉士を取得。介護職ではな  
かつたが札幌で働きながら、  
お金が貯まつたら友人と旅  
行に行くのが楽しみだつた  
と言う。

札幌での生活から少し休  
憩するため、池田に戻つ  
てきた時に農作業を手伝う  
ようになり、そのまま5年  
前に就農した。

農当時は父・善一郎さ  
んが働きに出でていた事  
もあり、農作業は就農1年  
目から全部の作業を一通り  
行つたそうだ。就農前に作  
業を行つた事といえば、高  
校生の時にピートの植え付  
け作業や豆積み等の忙しい  
農作業を行う両親を近くで  
見ていた事もあり、簡単に  
作業内容を説明して貰え  
ば作業が出来たという。

**青**  
年部に入部したのは、  
地域の先輩に誘われた  
のがきっかけで、青年部に  
入り、飲み会が好きなとの  
知り合いが増えた事が一番  
良かつたと話す。  
趣味は旅行や、フィギュ  
ア集めなど。寒いのが苦手

トラクターなどの機械に  
乗るのも好きで、機械作業  
は初めてでも、こなす事が  
出来る得意気な善共さん。  
ただ、「早起きが苦手です」  
と笑いながら話してくれた。

就農してからは、旅行に  
行く回数が減つてしまい、  
ストレスが溜まっているの  
で、農作業をスムーズに終  
わらせて、今は「ドバイや  
マチュピチュに行きたい!」  
と話してくれた。



# 農家の お嫁さん

7

家事・育児・仕事を  
頑張ります！

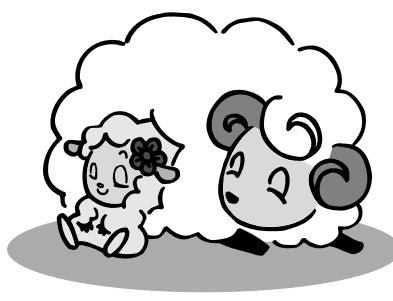


東台地区  
の野上真耶さん  
(37歳)

**家族構成**

- 夫 稔さん (38歳)
- 長女 夢叶ちゃん (15歳)
- 次女 愛叶ちゃん (12歳)
- 三女 未来叶ちゃん (8歳)
- 義父 正英さん (69歳)
- 義母 君恵さん (68歳)

- Q 出身地は？  
A 音更町です。
- Q 池田町に来てどう思いましたか？  
A 父親の実家が池田町なので、身近な町という感じでした。
- Q 趣味・特技・マイブームは？  
A 習字で師範の資格を持っています！
- Q 旦那さんとの出逢いは？  
A 友達を通して知り合いました。
- Q 結婚する前は何をしていましたか？  
A 短大を卒業後、帯広市内のお店でショッピング店員をしていました。
- Q 農家のお嫁さんになる事に不安はありましたか？  
A 不安はありましたが親の実家が昔、農家だった事もあり、とりあえず頑張ろうと思いました。
- Q 農家に嫁いで良かった事は？  
A 美味しい野菜を自分の家で食べられる事がとても嬉しいです。
- Q フレッシュユミズに入って活動してみて、どんな所が良いですか？  
A みんなと集まつた時に農作業の事や、その他共通の話題を話せるのが楽しいです。
- Q これから抱負を一言！  
A これからも家事・育児・仕事を、頑張ります！



## 理事会の動き

# 第10回

## ★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の加入及び脱退について
  - (2) 豆の集荷状況について
  - (3) 共計品の精算について
  - (4) 組合財務の現況について
  - (5) 余裕金運用状況報告並びに保有目的区分について
  - (6) 11月末基準仮決算について
  - (7) コンプライアンスプログラムの取組状況について
  - (8) 内部審査及び内部監査報告について
  - (9) コンプライアンス事故報告について
  - (10) JAグループ北海道改革プランについて
  - (11) 平成25年度法人税等修正申告について
  - (12) 固定資産の処分について

★ 議案 ★

- (1) 組合員の相続による出資金持分譲渡の承認願いについて
  - (2) 出資金持分譲渡承認願いについて
  - (3) 組合員資格変動並びに出資金持分減口承認願いについて
  - (4) 自治監査報告書について
  - (5) 固定資産の取得及び賃貸について

## ★ 協 議 案 ★

- (1) 総会までの行事日程について
  - (2) 平成27年度重点項目（案）について
  - (3) 平成27年度固定資産取得計画（案）について
  - (4) 冬期地区懇談会の開催について
  - (5) 年末組勘整理の見込みについて

## 今月の1枚



# 九作の数々と ネバリストーを使ったポタージュ♪

今月の1枚は、十勝地区廿性協議会研修会で、当廿性部の穂田佳代さんの手編みのマフラーなどの作品と、石田あゆ美さんのネバリスターを使つたボタージュの写真です。

各性部の作品の中でも、ひと際目立つ作品と、美味しいポタージュでした。

新しい年を迎えるました。平成26年は大変お世話になりました。皆さん、いかがお過ごしでしょうか？私は年末に車のスターターを無くしてしまい、震えながら車に乗っています（笑）。

昨年は広報の記事で、青年部やフレッシュコミズの方々と関わる事が多かった年でした。取材を快く引き受けさせてくださいました皆さん、本当にありがとうございました。今年も沢山の組合員さんと接していくたらと思います。また、組合員の“皆さん”に読んでもらえる広報を日摺して、今年も1年頑張ります。

平成27年、病気や事故もなく豊穣の年となります事を心から祈念申し上げます。（E）